

経営比較分析表（令和5年度決算）

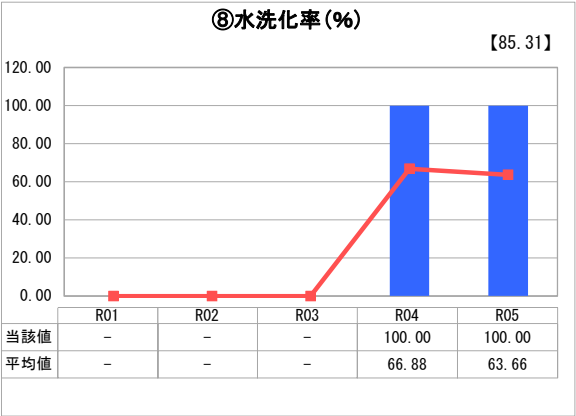
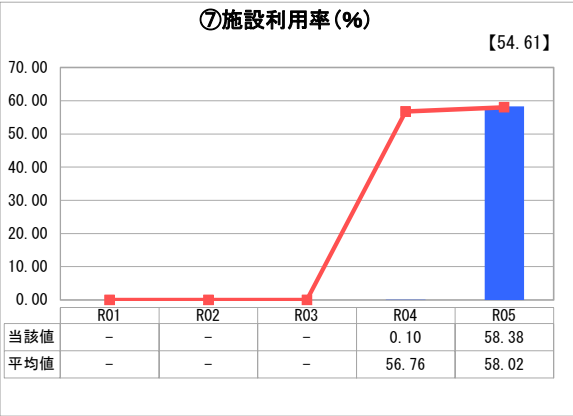
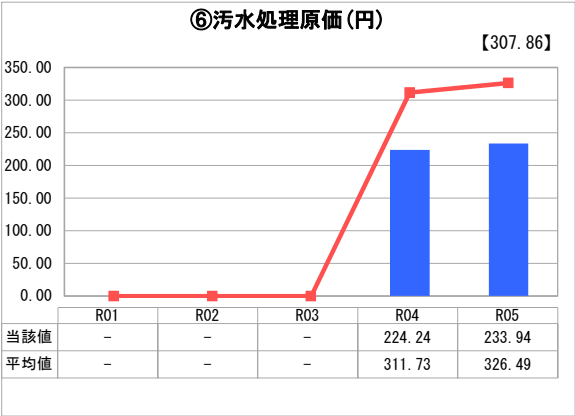
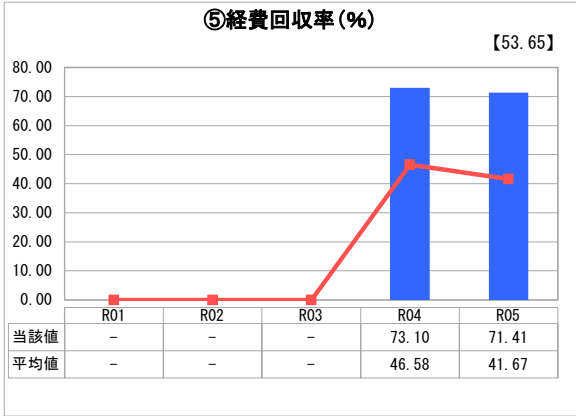
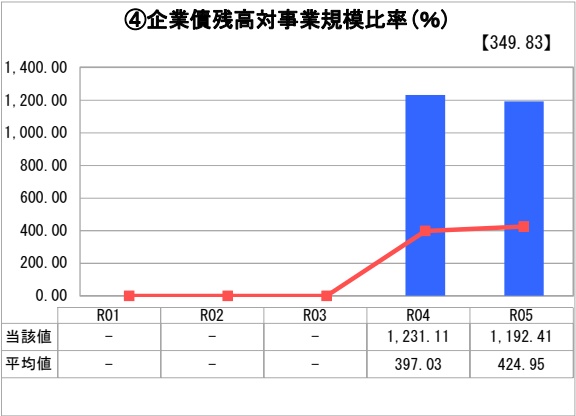
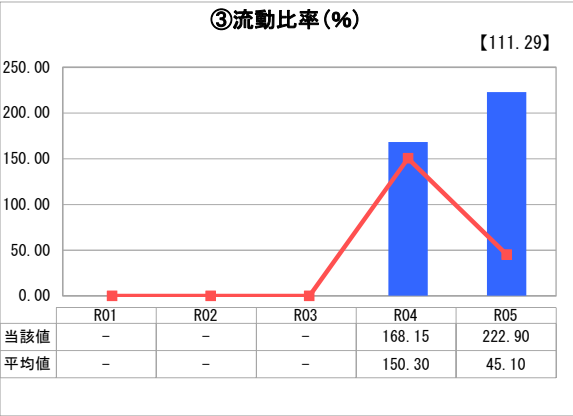
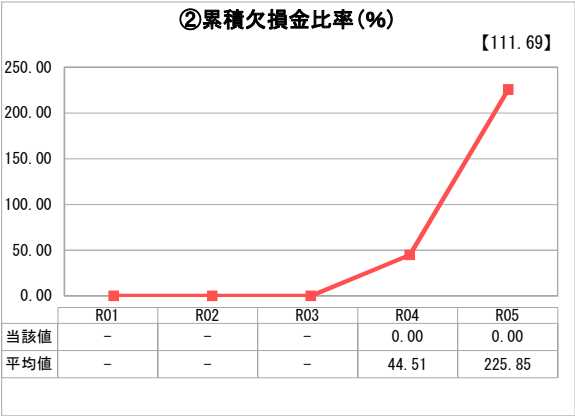
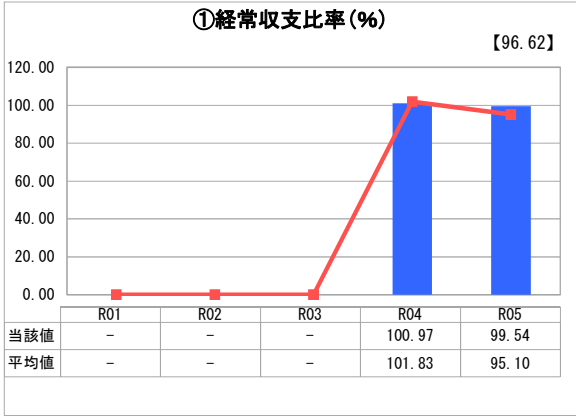
宮崎県 日南市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	46.50	6.63	100.00	3,674

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
49,037	535.49	91.57
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,225	0.01	322,500.00

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率
年度末に不測の修繕が発生したため、経常費用が増加し100%を下回る状況となりました。今後は経営状況を適宜把握し、健全経営に努めます。

③流動比率
預金の増加により流動資産が増加したことで、前年度から大きく増加しています。

④企業債残高対事業規模比率
前年同様、類似団体平均値よりも高い状況です。投資額と使用料収入の割合は毎年同規模であることから、今後もこの傾向が継続されると思われます。

⑤経費回収率
使用料は維持管理費のみを算出根拠としています。が、污水处理費には、維持管理費に加えて一般管理費も含まれていることから、経費回収率は100%に達していない状況です。事業の性質上、今後もこの傾向が継続すると思われます。

⑥污水处理原価
污水处理費の増加により、前年度から若干増加しました。今後も同程度の水準で推移すると思われます。

⑦施設利用率・⑧水洗化率
前年度の数値が誤っていたため、施設利用率は大幅に増加していますが、事業の性質上、経営の効率性に直接影響するものではないと考えます。

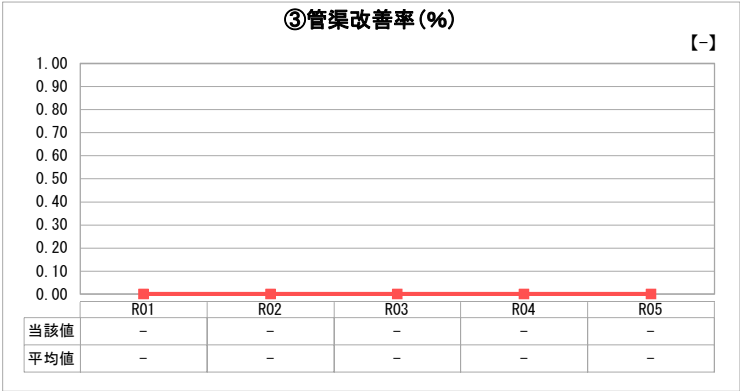
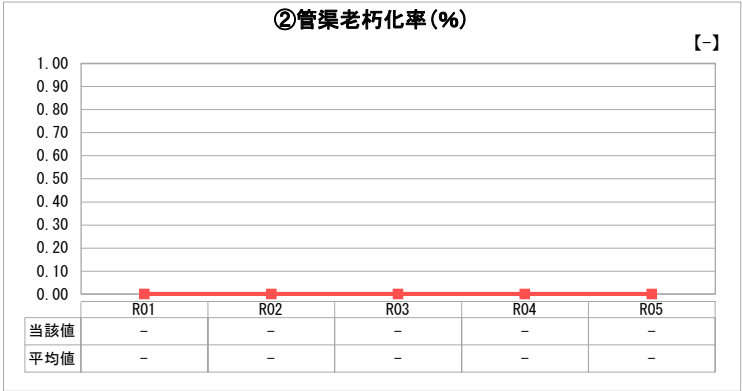
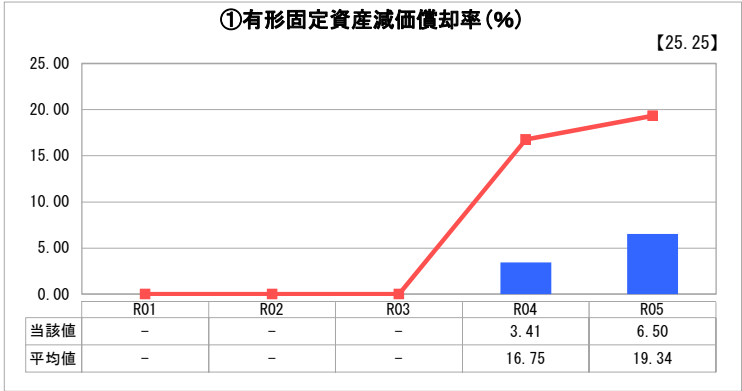
2. 老朽化の状況について

本事業は、事業開始から11年経過しましたが、浄化槽本体の老朽化に関する大きな問題は発生していません。

しかし、浄化槽に付属するブロウ（電気製品・空気ポンプ）は消耗品であり、耐用年数が7～15年とされているため、軽微な修繕が増加傾向にあります。

事業開始からの経過年数を鑑みると、これらの修繕等が今後も増加することが見込まれるため、計画的なブロウ更新について検討します。

2. 老朽化の状況



全体総括

事業の性質上、使用料収入のみでは経営が困難であるため、他会計補助金に依存している状況です。

使用料については、5年ごとに見直しを検討することとしていますが、昨今の物価高騰の影響で経営が圧迫されないよう、適宜状況を観察していきます。

今後は、令和3年度に策定した経営戦略に基づき、計画的かつ合理的な経営管理に努めるとともに、将来の事業継続に向けて、事業内容等の見直しを検討します。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。